

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成27年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

| | |
|-------|-----------------------|
| 所管部・課 | 建設部都市・まちづくり課(松本建設事務所) |
| 指定管理者 | TOY BOX |

1 施設名等

| | | | |
|-----|------------|--------|---|
| 施設名 | 長野県松本平広域公園 | 住所 | 松本市神林5300 |
| | | 電話 | 0263-57-2211 |
| | | ホームページ | http://shinshu-skypark.net/t/index/index.asp |

2 施設の概要

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|-------|-----------|-----------|---|----------|--|--------------|--|---------|-------------------------------|-------------|-----------|---------------|------------------------------------|-----------|--|
| 設置年月 | 平成6年4月 | 根拠条例等 | 長野県都市公園条例 | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置目的 | 住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設内容 | <table border="0"> <tr> <td>競技スポーツゾーン</td> <td>陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場</td> </tr> <tr> <td>ターミナルゾーン</td> <td>やまびこドーム、シンボル広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、触れる彫刻</td> </tr> <tr> <td>ファミリースポーツゾーン</td> <td>南管理棟、サイクルセンター、パターゴルフ場、大芝生広場、木製遊具、ニュースポーツ</td> </tr> <tr> <td>野と花のゾーン</td> <td>展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘、ドッグラン</td> </tr> <tr> <td>花のプロムナードゾーン</td> <td>バラ園、花木の小径</td> </tr> <tr> <td>みどりのプロムナードゾーン</td> <td>ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート</td> </tr> <tr> <td>みどりの交流ゾーン</td> <td>総合球技場(アルウィン)、芝生グラウンド、芝生広場、多目的広場、マレットゴルフ場</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">開園面積:141.6ha</p> | | | 競技スポーツゾーン | 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場 | ターミナルゾーン | やまびこドーム、シンボル広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、触れる彫刻 | ファミリースポーツゾーン | 南管理棟、サイクルセンター、パターゴルフ場、大芝生広場、木製遊具、ニュースポーツ | 野と花のゾーン | 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘、ドッグラン | 花のプロムナードゾーン | バラ園、花木の小径 | みどりのプロムナードゾーン | ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート | みどりの交流ゾーン | 総合球技場(アルウィン)、芝生グラウンド、芝生広場、多目的広場、マレットゴルフ場 |
| 競技スポーツゾーン | 陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ターミナルゾーン | やまびこドーム、シンボル広場、イベント広場、大型木製遊具、展望台、触れる彫刻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ファミリースポーツゾーン | 南管理棟、サイクルセンター、パターゴルフ場、大芝生広場、木製遊具、ニュースポーツ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 野と花のゾーン | 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘、ドッグラン | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 花のプロムナードゾーン | バラ園、花木の小径 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| みどりのプロムナードゾーン | ストリートバスケットコート、クライミングウォール、壁打ちテニスコート | | | | | | | | | | | | | | | | |
| みどりの交流ゾーン | 総合球技場(アルウィン)、芝生グラウンド、芝生広場、多目的広場、マレットゴルフ場 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用料金 | 有料施設:陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、やまびこドーム、パターゴルフ場等(施設により料金は異なる。) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開所日 | 年中無休 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開所時間 | 8:30～22:00 | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 現指定管理者前の管理運営状況

| 期間 | 管理形態 | 管理受託者又は指定管理者等 |
|-------------|------|---------------|
| ～平成17年度 | 管理委託 | 財団法人長野県公園公社 |
| 平成18年度～20年度 | 指定管理 | TOY BOX |
| 平成21年度～25年度 | 指定管理 | TOY BOX |

4 報告年度の指定管理者等

| | | | |
|-------|------------|------|---------------------------|
| 指定管理者 | TOY BOX | 指定期間 | 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間) |
| 選定方法 | 公募(応募者数:1) | | |

5 指定管理料(決算ベース)

| 平成27年度(A) | 平成26年度(B) | 差(A)-(B) | ※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ) |
|-----------|-----------|----------|---|
| 389,578千円 | 396,778千円 | ▲7,200千円 | |
| | | 増減理由 | 光熱水費の高騰による支出増加に対し、経費縮減により支出を削減し、また、消費税増税に伴うH26利用料金改定による増収分を差し引いたことによる減。 |

6 指定管理者が行う業務

| |
|---|
| (1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務 |
| (2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務 |

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-----------|---|---------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 平成27年度(A) | 72,387 | 104,808 | 177,075 | 83,070 | 47,274 | 78,966 | 188,988 | 27,006 | 9,701 | 11,542 | 12,363 | 46,618 | 859,798 |
| 平成26年度(B) | 51,366 | 114,669 | 113,132 | 73,923 | 46,792 | 73,852 | 175,813 | 74,844 | 14,553 | 16,542 | 14,343 | 53,082 | 822,911 |
| (A)/(B) | 140.9 | 91.4 | 156.5 | 112.4 | 101.0 | 106.9 | 107.5 | 36.1 | 66.7 | 69.8 | 86.2 | 87.8 | 104.5 |
| 増減要因等 | 減少要因:改修工事による屋内施設の利用減(△25,000) 増加要因:隔年イベントの開催(エクステリア(4,500)国興展(8,000))、アルウィンJ1・J2リーグ戦等開催時の集客増(38,000) | | | | | | | | | | | | |

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-----------|---|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 平成27年度(A) | 8,211 | 10,684 | 10,893 | 10,225 | 6,675 | 8,083 | 9,189 | 2,222 | 1,738 | 1,670 | 1,689 | 4,939 | 76,218 |
| 平成26年度(B) | 4,856 | 7,020 | 6,191 | 9,265 | 5,627 | 6,393 | 7,799 | 5,881 | 2,915 | 3,931 | 2,315 | 6,410 | 68,603 |
| (A)/(B) | 169.1 | 152.2 | 175.9 | 110.4 | 118.6 | 126.4 | 117.8 | 37.8 | 59.6 | 42.5 | 73.0 | 77.1 | 111.1 |
| 増減要因等 | 減少要因:改修工事による屋内施設の利用減(△6,747千円) 増加要因:アルウィンJ1・J2リーグ戦等開催収入増(11,000千円) | | | | | | | | | | | | |

(様式2)

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

| 見直しの有無 | 見直した場合はその内容 |
|---------------------------------------|-------------|
| 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | |

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

| 開所日数 | 開所時間 | 見直しの有無 | 見直した場合はその内容 |
|----------------|----------------------|---------------------------------------|-------------|
| 平成27年度(A):366日 | 平成27年度(A):8:30~22:00 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | |
| 平成26年度(B):365日 | 平成26年度(B):8:30~22:00 | | |

(5) サービス向上のため実施した内容

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ドッグランの会員制移行に伴い、RFID(電波個体識別技術)による会員認識システムを導入し、マナーアップ、環境整備を図ると共に安心して利用できるようにした。 ・マレットゴルフコースの整備ボランティアを組織化し、定期的にコースの整備を行った。 ・アルウィン無料開放や信州チャレンジスポーツDAYのイベントを県と県教育委員会と協働して行った。両イベントとも昨年に引き続き好評なイベントとなった。 ・初のJ1が開催されたが、チーム、県と連携を図り、円滑にシーズンを終えることができた。 ・スタッフが自ら積極的に調査や修繕を行い、不具合があった場合には「DIM=Do It Myself」を合言葉に迅速に修繕を実施し、サービス向上とコスト削減を体現した。 ・利用者が快適に過ごせるように園内の美化に努めた。また、大型連休前などにスタッフによる園外周辺道路の一斉清掃を行った。 ・公園ボランティア『花守の会』、『エバーグリーンキャンペーン』などを実施し「花いっぱい」の公園づくりを実践した。 ・ホームページでのスタッフブログ更新やスカイパーク通信の発行、新聞やテレビなどの撮影を通して、公園の魅力を全県に向けて発信した。 ・安心・安全な公園にするために、昼間だけでなく、夜間も園内巡回を行った。 |
|--|

(6) その他実施した取組内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントを継続して実施し、信州ACEプロジェクトのActionに取り組んだ。 ・園内の外灯に管理番号をつけ、来園者が現在地を容易に説明できるようにし、緊急時にすぐ対応できるようにした。 ・冬期の低温時にAEDが正常に作動しなくなる可能性があったため、AED収納箱にヒーターを設置し、緊急時に不備なく使用できるようにした。 |
|---|

(7) 利用者の主な声及びその対応状況

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・クライミングウォール壁頂部に立つと危険→カバーを設置し、最上部のホールドの取り外しを行い、安全に利用できるようにした。 ・カリヨンの音色と園内放送が重なって残念→園内放送時間をずらし、それぞれ聞いてもらえるように調整を行った。 ・Jリーグ開催に伴い、養生期間中に利用したいとの要望があった。→県や関係者と協議し対応した。 ・園内での自転車の速度が速い→園内放送の回数を増やし、注意喚起を行った。 |
|---|

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

| 項目 | 指定管理者 | 所管課 | 評価 |
|---------------|---|---|----|
| 施設の目的に沿った管理運営 | <ul style="list-style-type: none"> ●協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた年間維持管理計画に沿って管理運営を実施した。また、必要に応じて計画の見直しを行い、県と打ち合わせの上、臨機応変な対応を行った。 ●内部講習会の実施や、外部講習会へ積極的に参加し、スタッフのスキルアップに努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を実施したと認められる。また、イベントが気持ち良く開催できるように、年間2~3回予定している施設の特別清掃(窓ガラス清掃、床ワックス塗り)や、植栽剪定等、適切な時期にスケジュールを変更し、質の高い維持管理を行ったと認められる。 ・施設管理者として、高い意識を持ち、20以上の研修会に参加しており、管理運営能力の向上に加え、丁寧な接客を心掛けてしていると認められる。 | A |
| 平等な利用の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ●平等・公平に利用できるように、利用者調整会議を実施した。合わせて、ご利用団体懇談会を開催し、意見・要望をうかがった。 ●H28年度利用分の一般受付をHP等で告知し、3月2日から開始した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1、2月に、翌年度のスポーツ施設等の利用について、公共、連盟、協会等約70団体へ出席をお願いし、2日間に渡る利用者調整会議を開催し、年間を通じた平等な利用の確保の実現に努めたと認められる。 ・個人等の平等な利用の確保についても、受付開始前にホームページ等による事前周知を行っており、実現に努めていると認められる。 | A |
| 利用者サービス向上の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットを更新し、各ゾーンを色別にする、季節毎の花情報掲載など、より利用者サービスの向上を図った。 ●魅力あるホームページ構築のために、ブログにて公園内の様子やアルウィンの芝生状況などをリアルタイムに発信した。 ●管理報告概要書をホームページに掲載し、管理の内容などをわかりやすく伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・更新されたパンフレットは、7つのゾーンを色分けしたのみならず、公園配置絵図にイラストを用いることで、各ゾーンの特徴がわかりやすいものになった。また、14か所ある駐車場の位置が、一目でわかる工夫がされており、利用者サービスの向上に寄与したと認められる。 ・ホームページを活用し、四季折々の公園の魅力、イベント情報等をリアルタイムに発信し、より多くの利用者が訪れ、楽しめるよう工夫されている。ホームページアクセス数は、77万8千件であり、前年度に比べ約3万件増となった。 | B |

(様式2)

| | | | |
|---------|---|--|---|
| 自主事業 | <ul style="list-style-type: none"> ●総合型地域スポーツクラブ「sklpまつもと」は、利用の少なかった陸上競技場の夜間を利用して陸上教室を新たに開講。(陸上利用件数昨年度比123%)他で行っていない教室でもあり、募集人員にすぐに達し、魅力ある教室となった。 ●長野高専とスカイパーク科学館開催、松本平タウン情報と春の松本ランニングフェスティバル開催など好評な協働イベントを数多く行った。 ●アルウィン外周を利用した鬼ごっこや、ターミナルゾーンでのオリエンテーリングなどの今までになかった自主事業を展開した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スカイパーク科学館、春の松本ランニングフェスティバル、アルウィン無料開放等、50以上の事業を企画し、年間延べ1万9千人余りの参加を見た。また、総合型地域スポーツクラブでは、新教室を開講し、好評を得る等、新規事業の企画、開催に取り組んだ。 ・魅力ある自主事業をとおして、公園の利用者増、知名度向上に貢献したと考えられる。 | A |
| 職員・管理体制 | <p>常勤職員:30名、非常勤職員:4名、計34名</p> <ul style="list-style-type: none"> ●仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行なった。 ●運営本部による支援体制が円滑に機能し、利用者からの様々な要望に対し、迅速な対応ができた。 ●ネットワークの強靱化に伴い防犯webカメラを2基増設し(計30基)、より安心・安全な公園に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の業務管理として職員を適正に配置するとともに、イベント等混雑時は、対象施設へ重点的に職員を配置した。 ・カメラ、無線によるネットワークの強靱化を行い、運営本部による支援体制のもと、施設管理、電気、清掃等の複数の専門分野からなる組織の特徴を生かし、迅速かつ適切な公園管理を行い、安心・安全な公園を確保したと認められる。 | B |
| 収支状況 | <ul style="list-style-type: none"> ●本業と自主事業の収入合計516,171千円に対し支出合計498,293千円で17,878千円の収支差額となり、安定した運営を行うことが出来た。 ●ターミナル、みどりの交流ゾーンのデマンド管理を徹底し、光熱水費の縮減が実践できた。 ●提案書人件費予算85,190千円に対し、H27年度実績85,893千円(増の理由:継続雇用によるペースアップ) | <ul style="list-style-type: none"> ・有料施設利用者数85万9千8百人と昨年より約3万7千人増となり、収支は、魅力ある自主事業と合わせ、1千8百万円余りの黒字となった。 ・大型イベントが開催される「やまびこドーム」、「アルウィン」のデマンド管理を徹底し、光熱水費削減に努めた。 ・日々の仕事、研修等で経験を積んだ職員が、意欲を持って勤務にあたるよう、給与待遇面での改善努力を行っている。 | A |
| 総合評価 | <ul style="list-style-type: none"> ●「利用者の立場に立つ」「日々の積み重ね」を重点に置き、初心に戻るサービスの向上を図った。結果Jリーグ等大型イベントの開催、自主事業の充実もあり、指定管理者制度を開始してから利用者実績と利用料金収入が過去最多になった。 ●多くの大型イベントが開催されたが、適切かつ円滑に対応することができ、大きな事故なく一年を終えることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・協定書、仕様書及び事業計画書に基づく管理運営を適切に行い、植栽や施設的美観が細かいところまで確保され、快適な公園空間を提供しており、ホームスタジアムクラブチームのJ1昇格効果の恩恵を受けたことは否定できないが、魅力ある自主事業と合わせて、日々、多くの方々公園を訪れていただいた。 ・日常の巡回パトロール等を通じ、安心・安全な公園を実現することができた。 ・利用者満足度調査のため公園内に設置した目安箱(ほしい放題)や自主事業イベント参加者への各種アンケートに寄せられた意見、要望に真摯に向き合い、利用者の立場に立った公園管理を行った。(有料及び無料施設利用者を対象に、2か月間行ったアンケートでは、スタッフの対応について、「良い」、「やや良い」と回答した人が、74%と肯定的な意見が寄せられた) ・イベントの運営に際し、主催者側と綿密な打合せを行い、やまびこドームやアルウィンの1万人を超える各種イベントにも適切な対応ができたと認められる。 | A |

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

| 項目 | 指定管理者 | 所管課 |
|------------|--|--|
| 施設の管理運営の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ●県の長寿命化計画に助力し、老朽化してくる施設や備品に対するの対策を講じる。 ●利用者の要望を聞きつつ、受益者負担とのバランスの配慮。 ●イベントや天候に左右されず、安定的な人数と収入を確保できるような取り組み。 | <ul style="list-style-type: none"> ・広域公園として、多くの方々利用する空間と施設を有する県民の貴重な財産であるため、各施設の長寿命化を図りながら、今後とも安心・安全な公園を保持する。 ・集客力のある大型イベントの増加に伴い、様々な要望が寄せられるが、イベント主催者が行うべきことと、公園管理者が行うべきことを整理し、訪れる人の安全を確保するとともに、満足度を向上させていく姿勢が必要である。 ・公園の利用促進につながる新規イベントの誘致、魅力的な自主事業の開催、公園ホームページ、パンフレットによるPR活動、アンケート等に表れる利用者の声を参考とし、ニーズに則した公園を実現し、今まで以上の利用拡大につながるよう取り組みが必要である。 |

(様式2)

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:平成27年12月14日】

| 第三者評価における指摘・意見等 | 管理運営等への反映状況 | |
|--|---|--|
| | 指定管理者 | 所管課 |
| 施設の長期的な存続を実現するために県への適時正確な情報提供をお願いしたい。 | 月次検査時等において、施設管理運営に関する情報を提供するなど、長寿命化を含む県の施策実現に向け、協働して取り組みを行った。 | 日常の管理運営において確認した情報の提供及び施設の長寿命化に向けた提案に取り組むよう指導しました。 |
| 適切な時期での利用者調整会議の開催により、団体の平等な利用が確保されており、利用者アンケートの高評価にもつながっている。一方で、長期間継続して会議運営を司ることにより感覚が鈍るリスクがあることも認識して、利用者に対して機会均等を保証する環境を継続して整えてもらいたい。 | アンケートの評価を、持続・向上するため組織活性化を促し、常にホスピタリティを持った行動が出来るよう、継続して利用者の立場に立った管理運営を行うよう努めた。 | 指定管理者へは、指定管理業務を長期間、担っており、質の高い維持管理にあっているが、本評価を機に、改めて、日々の業務、会議、研修が形骸化している面はないか、コンプライアンス、ホスピタリティに欠けることはないか、注意するようお願いしました。また、第三者評価直後に行われる「利用者調整会議」では、この会議の時期、運営方法に改善、疑義の余地がないか、改めて参加者へ問いかけるよう指導しました。 |
| 老朽化が進み、今まで以上に修繕費が増える方向にあり、長期的視点から修繕・維持管理費を最小化させるために指定管理者としてできることを検討して欲しい。 | 県と協議しながら、収支状況も踏まえ、重要視している安心・安全な施設の実現とともに、修繕・維持管理費の効率的な運営に取り組んだ。 | 維持管理において確認した情報に基づいた修繕・維持方法の提案を県へ行うなど、効率的な運営に取り組むよう指導しました。 |
| 現在の指定管理者を決める公募ではTOY BOXのみ応募であり、他者との競争がなかったことで協定の条件が甘くなった、管理の質が落ちたなど言われることのないよう、今まで以上に意識をもって適切な管理運営を目指して欲しい。 | 管理の質が落ちることのないよう、研修会や講習会への参加等、日々向上意識を持ち、利用者サービスアップとコスト縮減の両立を目指し管理運営を行った。 | アンケート等に表れる公園、職員に対する高評価、好印象を持続し、さらに向上させるため、「県民から管理を任せられている」という意識を常に持ち、管理運営に当たるよう指定管理者を指導しました。 |